



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月7日

上場会社名 株式会社イントランス 上場取引所 東
 コード番号 3237 URL http://www.intrance.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)濱谷 雄二
 問合せ先責任者 (役職名)管理本部 総務課 課長 (氏名)安藤 智隆 (TEL)03 (6803)8100
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	2,461	47.1	522	293.3	526	366.6	275	268.7
30年3月期第2四半期	1,673	△26.4	132	△79.2	112	△79.2	74	△79.8

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 275 百万円 (268.7%) 30年3月期第2四半期 74 百万円 (△79.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	7.42	—
30年3月期第2四半期	2.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	5,710	3,230	56.6
30年3月期	6,030	2,955	49.0

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 3,230 百万円 30年3月期 2,955 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,750	4.8	390	—	330	—	120	—	3.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期2Q	37,131,000株	30年3月期	37,131,000株
31年3月期2Q	60,400株	30年3月期	60,400株
31年3月期2Q	37,070,600株	30年3月期2Q	37,070,600株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界経済における米国の通商施策による貿易摩擦の懸念が拡大するなど先行きは依然として不透明な状況が続いているものの、国内においては、企業業績の拡大を背景として、雇用及び所得環境の改善や個人消費に持ち直しの動きが続いたことから、緩やかな回復基調となりました。また、好調な輸出や訪日外国人の増加に伴うインバウンド消費の伸長も景気拡大につながっております。

当社グループの属する不動産市場におきましては、好調な不動産市場を背景に、2018年上半期における国内商業用不動産投資額は2兆2,510億円（前年同期比2.6%増）と半期ベースでの投資額は依然堅調に増加しています。また、海外投資家による国内不動産へのインバウンド投資は3,990億円で、国内投資額に占める割合は18%となり、海外の様々な投資家が日本の不動産市場に注目している状況にあります。（ジョーンズラングラサル株式会社の調査レポートより）

このような状況下、当社グループでは、投資対象とする不動産の潜在的価値を高めたうえで販売を行うプリンシパルインベストメント事業、プロパティマネジメントサービス（物件ごとのニーズに合ったオーダーメイド型の入居者管理代行サービス）、及び賃貸事業や不動産賃貸・売買の仲介業務を行うソリューション事業、並びに当社の連結子会社である株式会社大多喜ハーブガーデン（以下、大多喜ハーブガーデン）にて、ハーブガーデンの運営を行うその他事業にそれぞれ注力してまいりました。

この結果、売上高は2,461,235千円（前年同四半期比47.1%増）、営業利益は522,285千円（前年同四半期比293.3%増）、経常利益は526,117千円（前年同四半期比366.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は275,077千円（前年同四半期比268.7%増）となりました。

セグメントごとの業績を示すと、次のとおりであります。

(プリンシパルインベストメント事業)

プリンシパルインベストメント事業につきましては、保有物件の積極的な販売活動に取り組んだ結果、埼玉県蓮田市に所在する販売用不動産を売却いたしました。仕入活動につきましては、東京都世田谷区所在の収益ビルの売買契約を締結いたしました。

この結果、売上高は2,103,901千円（前年同四半期比61.7%増）、セグメント利益（営業利益）は607,849千円（前年同四半期比201.5%増）と大幅増収増益となりました。

(ソリューション事業)

ソリューション事業につきましては、プロパティマネジメントサービス事業において賃貸仲介手数料収入は減少したものの、賃貸事業において、プリンシパルインベストメント事業にて記載の埼玉県蓮田市に所在する物件の賃料収入及び和歌山マリーナシティ内3施設の配当金収入を計上しております。

この結果、売上高は259,047千円（前年同四半期比4.7%減）、セグメント利益（営業利益）は83,572千円（前年同四半期比18.3%減）となりました。

(その他)

連結子会社の大多喜ハーブガーデンが運営するハーブガーデンは、各種メディア媒体への積極的なPR活動により露出を図ったものの、今夏の記録的な猛暑により、多くの来場者が見込まれるイベントの開催日等、数日間の営業自粛を余儀なくされたこと、及び台風による営業時間の短縮を要因として、ハーブガーデンへの来場者数が減少いたしました。一方、飲食店等への各種ハーブ卸売事業においては、外食大手を含む4社の新規顧客を獲得いたしました。

この結果、売上高は98,286千円（前年同四半期比2.3%減）、セグメント利益（営業利益）は2,161千円（前年同四半期比27.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は前連結会計年度末に比べ114,424千円増加し5,436,058千円となりました。これは主として、販売用不動産が798,187千円減少したものの、現金及び預金が874,636千円増加したこと等によるものです。固定資産は前連結会計年度末と比べ434,783千円減少し274,565千円となりました。これは主として、無形固定資産が609,383千円減少したこと等によるものです。この結果、資産合計は前連結会計年度末と比べ320,359千円減少し5,710,623千円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては、流動負債は前連結会計年度末と比べ653,958千円増加し1,374,901千円となりました。これは主として、短期借入金が485,000千円増加したこと、及び未払法人税等が366,092千円増加したこと等によるものです。固定負債は前連結会計年度末に比べ1,249,395千円減少し1,105,000千円となりました。これは主として、長期借入金が1,163,125千円減少したこと等によるものです。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ595,437千円減少し2,479,901千円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ275,077千円増加し3,230,722千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年5月10日に公表いたしました平成31年3月期通期業績予想を、平成30年10月1日に修正しております。詳細につきましては、公表しております「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,729,724	2,604,361
売掛金	56,628	56,441
営業出資金	400,000	480,000
販売用不動産	2,878,303	2,080,116
その他のたな卸資産	14,315	14,387
その他	242,660	200,751
流動資産合計	5,321,633	5,436,058
固定資産		
有形固定資産	23,837	20,532
無形固定資産		
契約関連無形資産	609,383	—
その他	128	128
無形固定資産合計	609,511	128
投資その他の資産	75,999	253,905
固定資産合計	709,349	274,565
資産合計	6,030,983	5,710,623
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,879	8,141
短期借入金	15,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	132,500	65,000
未払法人税等	19,097	385,189
賞与引当金	9,007	26,624
その他	539,458	389,945
流動負債合計	720,942	1,374,901
固定負債		
長期借入金	2,268,125	1,105,000
その他	86,270	—
固定負債合計	2,354,395	1,105,000
負債合計	3,075,338	2,479,901
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,133,205	1,133,205
資本剰余金	903,204	903,204
利益剰余金	921,711	1,196,789
自己株式	△2,476	△2,476
株主資本合計	2,955,644	3,230,722
純資産合計	2,955,644	3,230,722
負債純資産合計	6,030,983	5,710,623

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	1,673,705	2,461,235
売上原価	1,065,686	1,553,466
売上総利益	608,018	907,769
販売費及び一般管理費	475,224	385,484
営業利益	132,794	522,285
営業外収益		
受取利息及び配当金	4,532	12
持分法による投資利益	6,001	—
匿名組合投資利益	—	43,418
その他	831	622
営業外収益合計	11,365	44,053
営業外費用		
支払利息	29,384	17,519
資金調達費用	2,020	22,701
その他	—	0
営業外費用合計	31,404	40,221
経常利益	112,754	526,117
特別損失		
固定資産売却損	—	2,467
特別損失合計	—	2,467
税金等調整前四半期純利益	112,754	523,650
法人税等	38,142	248,572
四半期純利益	74,612	275,077
親会社株主に帰属する四半期純利益	74,612	275,077

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	74,612	275,077
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	74,612	275,077
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	74,612	275,077
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	112,754	523,650
減価償却費	3,972	2,547
賞与引当金の増減額(△は減少)	△270	17,616
受取利息及び受取配当金	△4,532	△12
支払利息	29,384	17,519
資金調達費用	2,020	22,701
持分法による投資損益(△は益)	△6,001	—
匿名組合投資損益(△は益)	—	△43,418
固定資産売却損益(△は益)	—	2,467
売上債権の増減額(△は増加)	△2,244	187
前渡金の増減額(△は増加)	—	△10,000
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	123,779	—
営業出資金の増減額(△は増加)	—	△80,000
たな卸資産の増減額(△は増加)	827,778	798,115
前受金の増減額(△は減少)	△1,158	△14,714
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	△4,466	△121,971
その他の資産の増減額(△は増加)	31,872	△11,096
その他の負債の増減額(△は減少)	3,785	80,164
小計	1,116,675	1,183,755
利息及び配当金の受取額	4,532	12
利息の支払額	△29,421	△17,823
法人税等の支払額	△46,718	△44,927
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,045,067	1,121,017
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△3,716
無形固定資産の売却による収入	—	619,033
投資有価証券の取得による支出	—	△89,905
定期預金の預入による支出	—	△2,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	97,865	—
貸付けによる支出	△62,877	—
その他	500	△502
投資活動によるキャッシュ・フロー	35,487	522,909
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100,000	500,000
短期借入金の返済による支出	△94,000	△15,000
長期借入れによる収入	424,160	—
長期借入金の返済による支出	△726,550	△1,230,625
リース債務の返済による支出	△1,736	△2,750
手数料の支払額	△2,020	△22,701
配当金の支払額	△73,651	△213
財務活動によるキャッシュ・フロー	△373,798	△771,290
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	706,756	872,636
現金及び現金同等物の期首残高	1,215,137	1,729,724
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,921,894	2,602,361

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	計 (注)3
	プリンシパル インベスト メント事業	ソリューション 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,301,175	271,921	1,573,096	100,608	—	1,673,705
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	9,157	△9,157	—
計	1,301,175	271,921	1,573,096	109,766	△9,157	1,673,705
セグメント利益	201,628	102,344	303,973	2,973	△174,153	132,794

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハーブガーデンの運営事業であります。

2. セグメント利益の調整額△174,153千円には、セグメント間取引消去△9,157千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△164,995千円が含まれております。全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の費用であります。

3. セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	計 (注)3
	プリンシパル インベスト メント事業	ソリューション 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,103,901	259,047	2,362,948	98,286	—	2,461,235
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	14,791	△14,791	—
計	2,103,901	259,047	2,362,948	113,078	△14,791	2,461,235
セグメント利益	607,849	83,572	691,421	2,161	△171,298	522,285

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハーブガーデンの運営事業であります。
2. セグメント利益の調整額△171,298千円には、セグメント間取引消去△14,791千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△156,506千円が含まれております。全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の費用であります。
3. セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(合同会社インバウンドインベストメントによる当社普通株式に対する公開買付けについて)

当社は、平成30年10月17日開催の取締役会において、以下のとおり、合同会社インバウンドインベストメント（以下「公開買付者」といいます。）による当社の普通株式（以下「当社株式」といいます。）に対する公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）に関して、賛同の意見を表明するとともに、当社の株主の皆様が応募することを推奨するか否かについては中立の立場を取り、株主の皆様への判断に委ねる旨の決議をいたしました。

なお、本公開買付けは、当社株式の上場廃止を企図したのではなく、本公開買付け後も当社株式の株式会社東京証券取引所のマザーズ市場における上場は維持される予定であることを前提としております。

1. 公開買付者の概要

(1) 名称	合同会社インバウンドインベストメント	
(2) 所在地	東京都千代田区神田神保町二丁目19番地1	
(3) 代表者の役職・氏名	代表社員 ETモバイルジャパン株式会社 職務執行者 何 同璽	
(4) 事業内容	当社の株券等を取得及び保有すること等	
(5) 資本金	5,000,000円	
(6) 設立年月日	平成30年9月3日	
(7) 大株主及び持分比率	ETモバイルジャパン株式会社	50.0%
	和徳投資有限公司	50.0%
(8) 当社と公開買付者の関係		
	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

2. 買付け等の概要

- (1) 買付け等の期間 平成30年10月18日（木曜日）～平成30年11月20日（火曜日）（24営業日）
- (2) 買付け等の価格 普通株式1株につき 153円
- (3) 買付け予定の株式等の数
買付予定数 19,276,700株
買付予定数の上限 19,276,700株
買付予定数の下限 18,256,000株
- (4) 公開買付開始公告日 平成30年10月18日（木曜日）
- (5) 公開買付代理人 みずほ証券株式会社